

介護保険事業計画（素案）からの修正箇所

No.	ページ	指摘事項等	修正点
1	P1	【ページ上段】 「高齢化率は全国と比較した場合に現時点ではやや低い値ではあるものの、今後上昇していく見込みとなっています。」	「高齢化率は全国と比較した場合に現時点ではほぼ同水準となっており、今後しばらく横ばいが続いたあと、団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22年度ごろから上昇していく見込みになっております。」に変更
2	P1		最下段に※用語説明追加
3	P10		実績値の時点明記。
4	P12		最下段に「表示単位未満を四捨五入しているため、構成比の積み上げと合計が一致しない場合があります」を追記
5	P16		【図表1 ボランティアへの参加頻度】 50%以下の部分を拡大表示
6	P19	(3) 第9期計画へ向けた 主な課題 4段落目 「制度的な問題もありますが、介護人材不足への対応が求められています。」	(3) 第9期計画へ向けた主な課題 4段落目 「介護職員の充実が求められています」に変更。
7	P25		日常生活圏域の縮尺の変更
8	P31	⑤ボランティア活動の促進	⑤ボランティア活動の促進 担当に社会福祉課を追加し、順番を変更
9	P34	②認知症予防 2段落目3行目 「認知症予防に資する可能性のある活動を推進します。」	②認知症予防 2段落目3行目 「市民向け講座を実施しながら認知症予防につながる活動を推進します。」に変更

10	P36	(4) 介護予防の推進 ①一般介護予防 「要介護・要支援状態になることを防ぎ、市民に介護予防情報の提供を行いながら、市民が行う介護予防活動の支援を実施します。また PDCA リサイクルに沿って推進するとともに、リハビリテーション専門職の関与を促すなど、・・・」	(4) 介護予防の推進 ①一般介護予防 「市民への介護予防情報の提供や、教室・講座を開催するなど、市民が行う介護予防活動の支援を実施します。また、リハビリテーション専門職の関与を促すなど、・・・」に変更。
11	P37	(4) 介護予防の推進 ⑤とみさと高齢者応援事業 「地区社会福祉協議会が主体となり、地域独自のその地域に合った通いの場や見守り、イベント開催など」	(4) 介護予防の推進 ⑤とみさと高齢者応援事業 「地区社会福祉協議会が主体となり、地域独自の通いの場の創出や、イベント開催、見守りなど」に変更。
12	P43	(2) 介護給付の適正化 ①要介護認定の適正化 指標「認定調査委託率」 「軽重度変更率」	(2) 介護給付の適正化 ①要介護認定の適正化 指標「現任研修開催回数」に変更。
13	P44	④縦覧点検・医療情報との突合	④縦覧点検・医療情報との突合 指標「国保連合会で質疑のある「請求対象件数」 指標として実績の評価が困難なため削除。
14	P50	②人生会議の普及啓発	②人生会議の普及啓発 ※用語解説追加 担当を「高齢者福祉課」で追記。

